



交通北海道

第345号

令和3年1月15日発行

発行所 一般財団法人 北海道交通安全協会 札幌市北区北30条西6丁目4番18号 編集発行人 大槻 博 電話代表 011-737-8700 FAX 011-737-8704
ホームページアドレス <https://safety110.jp/>

賀正

令和三年

屈斜路湖(弟子屈町)

本年も皆様方とともに、
事故のない「安全で安心な北海道」の
実現に向けて努力して参りますので、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

(一財)北海道交通安全協会

会長 大槻 博

代表副会長
(札幌方面会長) 木村 輝美

副会長
(函館方面会長) 片岡 格

副会長
(旭川方面会長) 山下 裕久

副会長
(釧路方面会長) 安藤 純博

副会長
(北見方面会長) 河合 昭徳

専務理事 堀内 巖

常務理事 中川 拓也

常務理事 大矢 雅彦

新年のご挨拶



一般財団法人 北海道交通安全協会

会長 大槻 博

新年明けましておめでとうございます。

道民の皆様におかれましては、ご家族と共に穏やかな新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。併せて、平素から当協会の運営にご支援ご協力をいただいておりますことに、重ねて厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、仕事の進め方や生活様式などが大きく変わるなど激変の世の中となりました。罹患された方々にお見舞い申し上げますと共に、一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

さて、道内における昨年の交通事故の発生状況につきましては、発生件数、負傷者数、死者数のいずれも減少し、死者数は前年対比8人減少の144人と、道民の願いであります「安全で安心な北海道」の実現に向けて更に

一歩前進したところであります。

これは、コロナ禍の中におかれましても、官民一体となった交通安全諸対策と活動を推進してきた成果であり、とりわけ各方面・地区交通安全協会の皆様がそれぞれ地域の中心となり、本場に創意工夫をされて各期の交通安全運動や高齢者事故防止、飲酒運転根絶などの啓発活動にお取組いただいた賜であり、そのご尽力とご労苦に対しまして謹んで敬意と感謝を申し上げます。

しかし、交通事故全体は減少傾向を示しているものの、最近の特徴として、高齢者が係わる重大事故が後を絶たない現状にあり、特に、高齢運転者による死亡事故の発生が死亡事故全体の32%を占め、また、歩行者の死亡事故の63%が高齢者被害の事故で、その半数が薄暮時間帯や夜間・早朝に発生しているな

ど、高齢者対策が急務の課題となっているほか、いまだに飲酒運転による許しがたい事故が発生している現状にあります。

北海道交通安全協会といたしましては、特に、こうした犠牲者の減少を目指し、高齢歩行者対策として、本年も「光って安全！無事故3万人キャンペーン」を展開するほか、コロナ禍におけるマスクの着用に着目して開発した「光って安全・安心『反射マスク』」の普及促進など夜光反射材装着を広める活動や、高齢運転者対策として新たに「高齢ドライバー・無事故チャレンジ2021(仮称)」などを開催することとしております。

今後更なる交通事故の減少を目指し、交通ルールの遵守と人命尊重の意識を道民の皆様 に深く浸透させるため、各方面・地区交通安全協会と緊密な連携をとりながら、コロナ禍の中でも創意工夫をこらして交通安全運動の活性化と交通安全活動の推進に努めてまいります。

結びに、各方面・地区交通安全協会の益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げますと共に、新型コロナウイルスの早期収束を願いまして、新年のご挨拶といたします。

年頭の御挨拶



北海道警察本部長

小島 裕史

明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中、一般財団法人北海道交通安全協会の皆様には、交通安全活動を始め、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜りましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、貴協会を始めとする団体や関係機関と連携した活動は、中止や規模の縮小を余儀なくされたところではありますが、そのような情勢においても、皆様には、感染拡大防止に配慮しながら、交通安全活動を推進していただきました。

特に、貴協会の皆様方には、道内の交通安全活動の牽引役として、各期の交通安全運動における街頭啓発活動や札幌市地下歩行空間

「壁面広告」による広報活動を始め、「光って安全！無事故3万人キャンペーン」の実施や「反射マスク」の作成・配布等、夜光反射材の普及活動による高齢歩行者の交通事故防止など、道民の交通安全意識の高揚を図っていただき、重ねてお礼を申し上げます。

さて、道内における交通事故情勢でありましたが、昨年、交通事故により亡くなられた方は、前年より8人少ない144人と、北海道の交通事故統計が残っている昭和22年以降では、平成30年の141人に次いで少ない死者数となりました。

これもひとえに、貴協会を始めとする団体や関係機関、地域・職域の皆様の長年にわたる地道な交通安全の取組が実を結んだものと拝察しているところであります。

しかしながら、未だ多くの方々が交通事故の犠牲となっておりまことから、北海道警察といたしましては、本年も「交通死亡事故の抑止」のため、手を緩めることなく、飲酒運転や速度違反など、交通事故に直結する悪質危険な交通違反の取締りを始め、子供と高齢者の安全確保やシートベルト全席着用等に向けた施策を強力に推進してまいります。

皆様方におかれましても、交通死亡事故の更なる減少に向けて、今後も引き続き、交通安全活動に御尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、一般財団法人北海道交通安全協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



受章(賞)者のみなさん おめでとうございます

全日本交通安全協会の各種表彰は、長年にわたって交通安全に尽力された功労者や優良運転者、また交通事故防止に熱心に取り組んできた団体などに毎年授与されるものですが、北海道交通安全協会関係の受章(賞)者は次の通りです。



交通安全功労者 交通安全功労者

交通安全功労者

優良運転者



札幌市
滝本 繁



札幌市
山本 勇



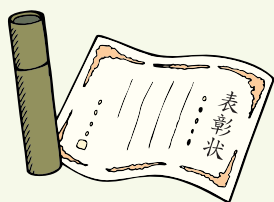
寿都町
長 勇



音更町
志賀 清二



岩内町
小塚 正春



令和3年 交通安全運動の推進方針(概要)

年間
スローガン
ストップ・ザ・交通事故
めざせ 安全で安心な北海道

交通安全運動の重点						
安全意識の 向上	自転車の 安全利用	居眠り運転の 防止	シート ベルトの 全席着用	スピード ダウン	飲酒運転の 根絶	子供と 高齢者の 安全確保
- 夕暮れ時・夜間の交通事故実態及び危険性を周知し、反射材用品等の着用促進を図る広報啓発活動を推進する。 - 昼間の点灯を呼びかけるデイ・ライト運動や夜間におけるハイビームの活用に向けた広報啓発活動を推進する。 「ながら運転」や「あおり運転」の危険性を周知する広報啓発活動を推進する。	- 自転車は「車両」であるということの周知を図るための広報啓発活動を推進する。 - 自転車シミュレータや自転車安全利用五則等の活用による自転車の交通ルールとマナー向上に向けた交通安全教育や広報啓発活動を推進する。 - 乗車用ヘルメットの着用、自転車損害賠償保険等への加入に向けた広報啓発活動を推進する。	- 長距離運転における休憩の呼びかけなど居眠り運転事故防止に向けた広報啓発活動を推進する。 - 交通安全講習・研修会等において居眠り運転防止に向けた交通安全教育を推進する。 - 道の駅、コンビニエンスストア等の駐車場を休憩場所として提供する「居眠り運転防止協力店」や観光施設と連携した広報啓発活動を推進する。	各種資器材を活用したシートベルト非着用の危険性の認識向上に向けた交通安全教育を推進する。	- 後部座席を含めた全席でのシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の効果についての広報啓発活動、着用率向上に向けた取組を推進する。 - 速度の出し過ぎによる危険性を周知する広報啓発活動を推進する。 - 思いやり・ゆずり合いの心を持った運転意識の醸成に向けた広報啓発活動を推進する。 - ドライビングシミュレータ等を活用した安全速度の遵守に向けた交通安全教育を推進する。	- 悪質な犯罪である飲酒運転の根絶に向けて、「飲酒運転をしない・させない・許さない」という規範意識の醸成を図る広報啓発活動を推進する。 - 飲酒疑似体験の交通安全講習や就業前における飲酒状態の点検等の普及活動を推進する。 「飲酒運転根絶ロゴマーク」やハンドルキーパー運動、「飲酒運転ゼロボックス」を周知するなど、飲食店や酒類販売店等と連携した広報啓発活動を推進する。 - 飲酒運転に関する情報提供の促進を図り、飲酒運転を見逃さない「社会の目」の一層の拡大を推進する。	- 歩行者の優先意識と保護意識の醸成を図る広報啓発活動を推進する。 - 街頭における交通安全指導と交通ルールを身につけるための交通安全教室等を推進する。 - 登下校時の安全確保のための関係機関・団体による通学路の安全点検と保護・誘導活動を推進する。 - あらゆる機会に高齢者の行動特性を理解した交通安全意識の高揚を図る広報啓発活動を推進する。 - 高齢者が個々の身体機能を自覚した安全な交通行動となる交通安全教育や高齢者宅への訪問活動等による交通安全指導を推進する。 - 運転免許証の自主返納者への支援に関する情報の提供や安全運転サポート車の普及促進のための広報啓発活動を推進する。

交通安全栄誉章「緑十字銀章」

交通安全功労者

札幌市	木村 輝美
札幌市	原 田 昭
石狩市	宮 岸 茂
南幌町	高 橋 勝治
仁木町	渡 高 淳
函館市	山 那 順一
知内町	田 高 朱實
松前町	工 藤 準子
旭川市	宗 万 功
旭川市	松 永 盛將
北見市	河 合 昭徳
遠軽町	渡 辺 勉

優良運転者

北広島市	田 村 勤
赤井川村	安 達 翼
函館市	泉 善 博
士別市	矢 田 智子
幕別町	平 井 明光
大空町	谷 本 一夫

交通安全優良団体等表彰

優良団体

美幌交通安全少年団

優良学校

札幌市立上白石小学校
函館市立銭亀沢中学校

優良交通安全協会

札幌北交通安全協会
札幌南交通安全協会
旭川東地区交通安全協会連合会

北海道交通安全協会 (令和3年 主要行事予定)

- ◆ 令和2年度第2回理事会 …… 3月25日(木)
- ◆ 第53回二輪車安全運転北海道大会 …… 6月6日(日)
- ◆ 第2回理事会・定時評議員会 …… 6月22日(火)
- ◆ 札幌方面安協理事会・総会 …… 6月22日(火)
- ◆ 第55回交通安全子供自転車北海道大会 …… 7月4日(日)

特 別 対 策	交通安全の日等の運動				
	その他の交通安全の日	自転車安全の日	道民交通安全の日	交通事故死ゼロを目指す日	飲酒運転根絶の日
「交通事故死ゼロを目指す日」や「飲酒運転根絶の日」等の発案に地域住民等へ緊急かつ効果的な広報啓発、住民集会、街頭指導等を実施する。	地域独自の交通安全の日等に、地域・職域の実情に応じた広報啓発活動を実施する。(無事故の日：6月25日、バイクの日：8月19日)	自転車の安全利用と事故防止を図るため、自転車利用者を対象に街頭指導、啓発活動等を実施する。(毎月第1及び第3金曜日)	道民の交通安全意識の高揚を図るため、期別運動のセーフティコールに準じた広報啓発活動を実施する。(毎月15日)	交通事故死ゼロを目指す、住民集会などの啓発行事や期別運動のセーフティコールに準じた広報啓発活動を実施する。(4月10日(土)、9月30日(木))	道民の飲酒運転根絶の気運を高めるため、広報啓発活動を実施する。(7月13日(火))

期 別 運 動				
重点項目	期別運動の方針	セーフティコール	実施期間	運動名
◆ 春・秋の運動においては、全国交通安全運動推進要綱の運動重点に準じ、必要に応じ北海道独自の項目を定める。 ◆ 夏・冬の運動においては、北海道の地域特性、交通事故の発生状況、特徴等を勘案する。	新入学(新学期)を迎える子供や活動期に入る自転車利用者等の事故防止を図るための活動等を推進する。	4 / 6 (火)	4 / 6 (火) 4 / 15 (木)	春の全国交通安全運動
	観光・夏型レジャー等に伴う事故防止、バイクによる事故防止及び飲酒運転根絶を図るための活動等を推進する。	7 / 13 (火)	7 / 13 (火) 7 / 22 (木)	夏の交通安全運動
	夕暮れ時・夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止等を図るための活動等を推進する。	9 / 21 (火)	9 / 21 (火) 9 / 30 (木)	秋の全国交通安全運動
	凍結路面でのスリップ事故防止等を図るための活動等を推進する。	11 / 12 (金)	11 / 13 (土) 11 / 22 (月)	冬の交通安全運動

令和3年使用

交通安全年間スローガン入賞作

一般部門／運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

最優秀作（内閣総理大臣賞）

ゆとりある 心と車間の デイスタンス

千葉県 焼山 美羽

優秀作（内閣府特命担当大臣賞）

まあだだよ ベルトみんなが しめるまで

群馬県 佐藤 三郎

優秀作（警察庁長官賞）

スピードは 視野も心も 狭くする

福島県 小林 秀一

一般部門／歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

最優秀作（内閣総理大臣賞）

ママなんで？ 赤は止まると 習ったよ

兵庫県 天野 瑛斗

優秀作（内閣府特命担当大臣賞）

イヤホンを 外して聴いて 町の音

福岡県 小野 貴雅

優秀作（警察庁長官賞）

どこいくの 連れていってね ヘルメット

山形県 大村 慧

こども部門

最優秀作（内閣総理大臣賞）

自転車に 乗るならきみも 運転手

埼玉県 前 奈菜子

優秀作（内閣府特命担当大臣賞）

じてんしゃと いつもともだち へるめつと

群馬県 相澤 星那

優秀作（文部科学大臣賞）

スマホより 集中するのは 前の道

石川県 河合 娃里

優秀作（警察庁長官賞）

手をあげて じぶんでまもう いのちのあひす

富山県 大藏 莉瑚

令和3年使用

交通安全ポスター デザイン募集！

「令和3年使用交通安全年間スローガン」の最優秀作を入れた「ポスターデザイン」を募集しています。創意あふれる作品をどしどしお寄せください。

応募要領

- ◆ポスターに入れるスローガン
一般部門（運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの）、一般部門（歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの）、こども部門、それぞれの最優秀作
- ◆応募資格
一般部門▶どなたでも応募可 こども部門▶中学生以下のみ応募可
- ◆作品サイズ
一般部門▶B3判またはB3判相当の四つ切り用紙、縦位置に限る
こども部門▶B3判またはB3判相当の四つ切り用紙、縦・横位置自由
- ◆応募上の注意
作品にはスローガンを必ず原文のまま使用する／交通標識などは正しく描く／未発表作品に限る／応募点数の制限なし／共同制作も可／応募作品は返却しない
- ◆応募方法
部門名、住所、氏名、生年月日、電話番号などを明記した応募票を作品の裏に貼付
- ◆応募先
〒262-0003 千葉市花見川区宇那谷町1501-2
（株）ベターサービス「交通安全ポスター」係
- ◆締め切り……令和3年1月31日（消印有効）
※発表…令和3年3月中旬、毎日新聞紙上などで発表

賛助会員のご紹介

北海道交通安全協会の活動に賛同し、賛助会員としてご協力いただいている団体を順次ご紹介しています。（令和2年10月9日現在、81団体）

※なお、賛助会員の募集は、随時行っております。詳しくは、道安協 ☎011-737-8700までお問い合わせください。

札幌市中央区	（一社）北海道警友会
札幌市中央区	（有）地勢社
札幌市中央区	北海道土木設計（株）
札幌市中央区	（株）札幌丸井三越
札幌市中央区	池田明聰公認会計士事務所
札幌市中央区	ジーエムエイチ後藤被服（株）
札幌市中央区	（有）自然社
札幌市中央区	（株）H B A
札幌市東区	（有）シグナル
札幌市東区	北海道自家用自動車協会連合会
札幌市南区	（株）幌南自動車
札幌市西区	（株）須田製版
札幌市西区	（株）横山プリントサービス社
札幌市北区	（株）たいよう共済北海道支店
江別市	（株）パル・コーポレーション
石狩市	（有）近藤車輛

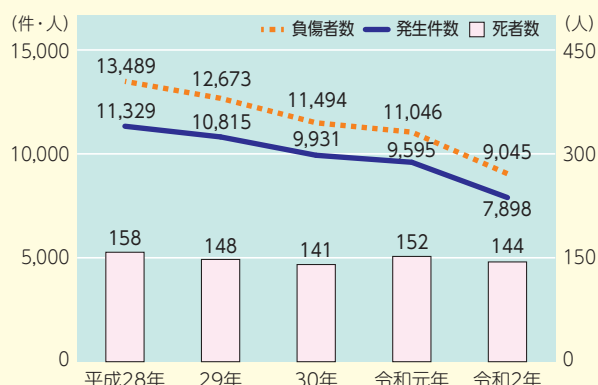
令和2年の北海道の交通事故発生状況

令和2年に北海道で発生した交通事故は7,898件、死者は144人、負傷者は9,045人で、いずれも前年を下回り、発生件数と負傷者数は4年連続で減少しました。

	発生件数	死者数	負傷者数
令和2年	7,898件	144人	9,045人
令和元年	9,595件	152人	11,046人
増減数	-1,697件	-8人	-2,001人

※令和2年は速報値

■交通事故発生状況の推移（道内、過去5年間）



地区活動状況の紹介

地区の活動は会員の皆さんの会費や賛助金などで行っています。
ご協力をお願いします。



▲札幌中央／冬の運動初日、市内中心部の交差点でドライバーに安全運転を呼びかけ



▲札幌南／冬の運動期間中、関係機関等と連携して幹線道路沿いで街頭啓発を実施



▲札幌白石／交通安全の願いを込めて小学校で栽培したヒマワリの種の収穫式を開催



▲芦別／ライトが当たると光る「反射マスク」を芦別市老人クラブ連合会に贈呈



▲小樽／小樽市老人クラブ連合会に対する「反射マスク」の贈呈式を開催



▲苫小牧／冬の運動の総決起集会後、市役所前の国道36号沿いで旗の波作戦を展開



▲浦河／高齢者宅を訪問して「反射マスク」を手渡し、外出時の事故防止を呼びかけ



▲函館中央／函館市シルバー人材センターに「反射マスク」100枚を贈呈



▲函館西／冬の運動初日、JR函館駅前横断幕などを掲げて事故防止をアピール

地区活動状況の紹介



▲旭川中央／冬の運動初日、国道12号沿いで飲酒運転根絶などを呼びかけ



▲旭川東／愛別町で道道を通行する車両のドライバーに啓発グッズを配布



▲士別／和寒町交流施設「ひだまり」前の国道40号沿いで旗の波作戦を展開



▲稚内／大型スーパーの入り口で来店客に反射材などを手渡しして事故防止を呼びかけ



▲富良野／高齢者対象の交通安全講習会を開き、参加者に「反射マスク」を贈呈



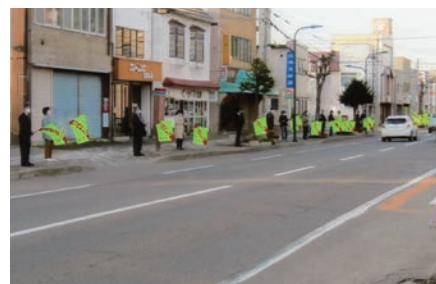
▲厚岸／国道44号の望洋台駐車場の沿道にのぼりを設置し、安全運転をアピール



▲根室／関係機関・団体と連携し、根室振興局前の国道交差点沿いで街頭啓発を実施



▲中標津／自動車学校での安全講習会に参加した高齢者に「反射マスク」を配布



▲本別／本別町内の各団体と協力し、国道242号沿いで「人の波運動」を実施



▲帯広／幕別町の道道沿いで事業所従業員らがドライバーに安全運転を呼びかけ



▲北見方面／冬の運動初日、ショッピングセンター前の沿道で旗の波啓発を実施



▲美幌／冬の運動期間中、国道243号沿いでシートベルト着用などを呼びかけ

交通安全協会インフォメーション ～安協への加入をお待ちしております～

★交通安全協会は、悲惨な交通事故をなくし、安全で安心な交通社会を実現することを目指して設立された団体です。次の各種活動を幅広く推進しています。

- 各期の交通事故防止運動の実施
- 交通安全の広報・啓発活動
- 各種交通安全教室の開催
- 優良運転者等の表彰

※会員証の提示で協力店での割引・優待の特典が受けられます。
(詳細は、当協会ホームページ・ロードマップに掲載しています)

あなたもご入会いただき、地域の交通安全運動にご協力ください。

●入会申し込みは、札幌運転免許試験場、中央・厚別優良運転者免許更新センター及び各方面交通安全協会(運転免許試験場)のサービスコーナー、または各地区交通安全協会にて受け付けています。納入いただいた会費は、あなたの地域の交通安全活動を進める大きな力になっています。

